

子ども部会 報告（2020）

<活動概要>

障害児相談支援事業所や、支援学校、療育施設等が集まり、障害を持つ子どもや、それに近い状態像の子どもの、地域での生活について抱えている課題について会議を行っています。また、今年度から毎月開催から2か月に1回の開催に変更しましたが、コロナ禍の影響で、4月の部会は中止し6月に部会再開、7月・9月・11月・1月はZOOMを利用したWEB会議を開催しました。

今年度の目的は①不登校児童の増加についての検討・居場所活動②障害児支援の地域課題の検討③福祉制度や宇治市の資源についての学習

- ① 不登校児童を対象とした子どもサロンを月2回、地域のコミュニティセンターで開催した。（なお、緊急事態宣言下の4月16日～5月末までは開催を見送りました。）
- ② コロナ禍の児童支援への影響や抱える課題についてのアンケート調査を市内の障害児相談支援事業所・放課後等デイサービス事業所を対象に行った。
- ③ 研修会等の情報を共有した。

<現状と課題>

- ・子どもサロンの実施は継続しており、ボランティアさんの参加も始まったが、スタッフ確保や今後の広げ方で課題を抱えている。また、不登校児童は増加傾向にあり、学校と福祉事業所と引きこもり支援機関などとの連携が必要である。
コロナ禍の影響で、オンライン参加やリモート形式の学習等の機会を経験し、長年学校に通えてなかった児童が、登校につながったケースもある。
- ・緊急事態宣言期間には、学校休校や福祉サービスの休所やサービス提供時間の短縮があり、支援が途切れ家庭での虐待につながるケースもあった。
- ・障害児相談支援事業所、放課後等デイサービス事業所、児童発達支援事業所間の連携や交流する機会が少ないのが課題である。